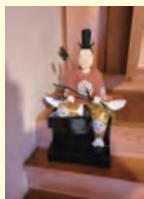


三十番神信仰とは

日蓮大聖人が比叡山で修行されていた頃、日本古来の三十柱の神々が、大聖人が読む法華経を聞きに来られたという伝説から起こりました。その神々を「ひと月、一日から三十日の守護神としてお祀りする信仰」です。室町時代から数百年間、「神仏習合」が日本の当たり前姿でしたが、明治維新での「神仏分離令」により、多くの寺社で失われていきました。



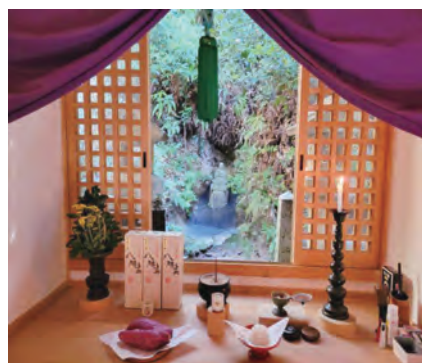
令和6年、新たに蘇生する「大黒天神」「蔵王権現」両尊のお姿も、堂内にご安置いたします。(予定)



北加納地区の方へ 従来の「農作物やお米等」は辞退いたします。もしお供え(随意)いただく場合は、「おてらおやつくらぶ」を通じて送る「子ども食堂へのお菓子」をお願いいたします。また北加納地区以外の方も、ご賛同いただける方は、同様に「お菓子」のお供え(随意)をお願いいたします。



御霊水 「水原堂」にも是非ご参拝ください



三十番神堂ご参拝の後、ご霊水の湧き出し口「水原堂」にも是非、足をお運びいただき、「ご霊水を祈願湧出させた日隆聖人」、「龍神」様を拝していただければ幸いです。